

平成21年10月期 第1四半期決算短信

平成21年3月13日

上場会社名 株式会社 エイチ・アイ・エス
 コード番号 9603 URL <http://www.his.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平林 朗
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 楠原 成基
 四半期報告書提出予定日 平成21年3月13日

上場取引所 東

TEL 03-5908-2070

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年10月期第1四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第1四半期	83,021	—	1,770	—	646	—	461	—
20年10月期第1四半期	85,396	5.7	1,160	△9.8	1,459	△7.0	936	△3.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第1四半期	14.22	—
20年10月期第1四半期	28.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第1四半期	103,727	39,745	37.8	1,208.25
20年10月期	103,746	45,210	43.2	1,381.81

(参考) 自己資本 21年10月期第1四半期 39,182百万円 20年10月期 44,810百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	0.00	—	24.00	24.00
21年10月期	—	—	—	—	—
21年10月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	168,000	—	4,150	—	3,100	—	1,950	—	60.13
通期	369,000	0.2	8,750	48.2	7,100	14.4	4,200	68.8	129.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 — 社(社名 —) 除外 1社(社名 株式会社ATB)
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第1四半期 34,261,468株 20年10月期 34,261,468株
 ② 期末自己株式数 21年10月期第1四半期 1,832,622株 20年10月期 1,832,237株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年10月期第1四半期 32,429,036株 20年10月期第1四半期 33,066,528株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、3ページをご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速等の影響により景気に急速な悪化が見られ、企業の設備投資は減少し、個人消費も停滞しました。

旅行業界における海外旅行動向は、円高傾向による需要の回復期待がありましたが、高水準にあります燃油特別付加運賃や景況感悪化の影響から、韓国など一部地域を除き、依然マイナス傾向が続いております。日本政府観光局(JNTO)による平成20年11月から平成21年1月にかけての日本人出国者数(推計値)は前年同期比約11.0%減(約45.7万人減)の約371万8千人と前年を大きく下回る見込みです。

このような状況のなか、当社グループの旅行事業におきましては、旅行需要を確実に確保していくため各種販売促進を積極的に行いました。毎年ご好評をいただいております恒例の「初夢フェア」など価格訴求を中心としたキャンペーンに加えまして、円高傾向による海外旅行のお得感を訴求するため「円高!今がチャンスフェア」を行うなど集客増に努めました。新たな旅行商品の展開といたしましては、従来の主力パッケージツアーブランドである「Ciao(チャオ)」とは一線を画した、高品質な内容・こだわりのサービスを提案する新カテゴリー「Ciao Premium(チャオプレミアム)」の発表を行いました。また、添乗員同行パッケージツアーブランドであります「impresso(インプレッソ)」におきましては、発売開始から10周年を迎えたことを記念し、お客様への感謝の気持ちを込めた「impresso 10周年特別謝恩企画」の発表を行いました。強化課題であります海外展開といたしましては、中国・海南島、フィリピン・セブ島、エジプト・カイロへ3拠点をオープンし、新たな観光地や商品の開発を行いました。組織面におきましては、連結子会社であります株式会社ATBを解散し、より業務の効率化を図る狙いで平成21年1月に当社への統合を行いました。また、武蔵野地区を中心に展開しております特約代理店の株式会社夢屋におきましても、該当地域の営業基盤拡充を図ることを目的とし、平成21年1月に営業権を譲り受けることにいたしました。

このように積極的な営業施策を展開した結果、取扱人数につきましては、前年同期実績を超える内容となりました。しかしながら、景気後退による法人需要の減退及び、韓国など客単価の低い「安・近・短」ヘレジャー需要が集中した結果、当第1四半期連結会計期間における旅行事業は、売上高824億84百万円(前年同期比97.4%)と減収になりました。一方、商品造成の見直しを中心とする原価管理体制の強化の成果が現れ、営業利益は25億80百万円(同154.8%)と増益となりました。

ホテル事業におきましては、オーストラリア国内の景気後退に伴い、ゴールドコースト・ブリスベン共に客室稼働率の低下が見られました。また、客室改装費用の増加や業績を円換算する際の円高傾向も影響した結果、売上高5億38百万円(前年同期比72.0%)、営業利益3百万円(同2.9%)となりました。また、非連結ではありますが平成20年12月より札幌にて、日本国内初となるウォーターマークホテル札幌を開業しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、売上高830億21百万円(前年同期比97.2%)、営業利益17億70百万円(同152.6%)、経常利益6億46百万円(同44.3%)、四半期純利益4億61百万円(同49.2%)となりました。

なお、上記文中の損益項目数値に付しております「前年同期比」につきましては、参考情報となります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、1,037億27百万円となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ54億46百万円増加し、639億82百万円となりました。これは主に、旅行前受金の増加(前期末比28億18百万円増)、為替予約の増加(同24億38百万円増)によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ54億64百万円減少し、397億45百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少(前期末比42億1百万円減)、繰延ヘッジ損失の増加(同12億70百万円増)によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ31億20百万円減の279億60百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況についての詳細は以下のとおりです。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、65億85百万円の増加となりました。主な要因としては、旅行前受金の増加（37億7百万円）、旅行前払金の減少（16億86百万円）、仕入債務の増加（9億4百万円）が挙げられます。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、62億17百万円の減少となりました。これは主に、為替予約のための保証金の差入による支出（76億30百万円）、定期預金の預入による支出（8億60百万円）、有形及び無形固定資産の取得による支出（5億13百万円）が、為替予約のための保証金の回収による収入（20億円）、定期預金の払戻による収入（9億57百万円）を上回ったことによるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に、当社における配当金の支払（7億78百万円）により、7億91百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成21年2月26日に公表いたしました平成21年10月期（平成20年11月1日～平成21年10月31日）の第2四半期累計期間業績予想（連結）及び平成20年12月22日に公表いたしました平成21年10月期（平成20年11月1日～平成21年10月31日）の通期業績予想（連結）を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正の詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

株式会社ATBは当第1四半期連結会計期間において清算手続きに入ったため、連結の範囲から除外しております。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法は、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

また、繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,411	43,555
売掛金	8,388	5,652
営業未収入金	6,697	8,468
有価証券	839	1,038
繰延税金資産	6,870	5,684
旅行前払金	8,411	10,336
前払費用	801	856
短期貸付金	46	45
関係会社短期貸付金	235	69
未収入金	1,536	1,215
その他	2,191	2,019
貸倒引当金	△67	△29
流動資産合計	75,361	78,911
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,984	5,597
工具、器具及び備品(純額)	798	794
土地	1,128	1,742
その他(純額)	93	104
有形固定資産合計	6,004	8,238
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	4,787	4,922
関係会社株式	3,530	3,131
関係会社出資金	4	27
長期貸付金	261	403
関係会社長期貸付金	1,020	1,020
差入保証金	10,139	4,549
繰延税金資産	993	944
その他	166	251
貸倒引当金	△86	△143
投資その他の資産合計	20,817	15,109
固定資産合計	28,365	24,835
資産合計	103,727	103,746

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	15,911	16,362
1年内返済予定の長期借入金	—	158
未払金	1,150	966
未払費用	1,854	1,586
未払法人税等	520	289
未払消費税等	319	362
旅行前受金	27,744	24,926
賞与引当金	1,104	2,114
役員賞与引当金	52	53
為替予約	10,201	7,763
その他	3,199	1,919
流動負債合計	62,059	56,504
固定負債		
長期借入金	50	50
繰延税金負債	2	3
退職給付引当金	1,380	1,425
役員退職慰労引当金	354	418
その他	134	134
固定負債合計	1,923	2,032
負債合計	63,982	58,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,882	6,882
資本剰余金	7,782	7,782
利益剰余金	34,847	34,946
自己株式	△2,519	△2,519
株主資本合計	46,993	47,092
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△240	△181
繰延ヘッジ損益	△5,853	△4,582
為替換算調整勘定	△1,717	2,483
評価・換算差額等合計	△7,810	△2,281
少数株主持分	563	399
純資産合計	39,745	45,210
負債純資産合計	103,727	103,746

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)
売上高	83,021
売上原価	69,705
売上総利益	13,316
販売費及び一般管理費	11,545
営業利益	1,770
営業外収益	
受取利息	214
持分法による投資利益	159
その他	56
営業外収益合計	429
営業外費用	
為替差損	1,494
その他	59
営業外費用合計	1,553
経常利益	646
特別利益	
固定資産売却益	2
その他	0
特別利益合計	2
特別損失	
固定資産除却損	7
固定資産売却損	0
その他	1
特別損失合計	9
税金等調整前四半期純利益	640
法人税等	62
少数株主利益	116
四半期純利益	461

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年11月1日
至 平成21年1月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	640
減価償却費	286
のれん償却額	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,009
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△63
受取利息及び受取配当金	△214
持分法による投資損益(△は益)	△159
為替差損益(△は益)	1,669
支払利息	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△1
有形固定資産除却損	7
その他の損益(△は益)	4
売上債権の増減額(△は増加)	△1,482
旅行前払金の増減額(△は増加)	1,686
その他の資産の増減額(△は増加)	△987
仕入債務の増減額(△は減少)	904
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10
未払費用の増減額(△は減少)	342
旅行前受金の増減額(△は減少)	3,707
その他の負債の増減額(△は減少)	743
小計	6,161
利息及び配当金の受取額	149
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	274
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△860
定期預金の払戻による収入	957
有価証券の償還による収入	200
有形及び無形固定資産の取得による支出	△513
有形及び無形固定資産の売却による収入	3
関係会社株式の取得による支出	△324
投資有価証券の償還による収入	4
関係会社株式の売却による収入	42
貸付けによる支出	△1
貸付金の回収による収入	55
営業譲受による支出	△179
差入保証金の差入による支出	△7,848
差入保証金の回収による収入	2,248
その他	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,217

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年11月1日
 至 平成21年1月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△778
少数株主への配当金の支払額	△12
自己株式の取得による支出	△0
自己株式の処分による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,513
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,936
現金及び現金同等物の期首残高	31,080
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	545
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△729
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,960

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

	旅行事業 (百万円)	ホテル事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	82,484	530	6	83,021	—	83,021
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	7	—	7	△7	—
計	82,484	538	6	83,029	△7	83,021
営業利益	2,580	3	6	2,589	△819	1,770

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な事業内容は以下のとおりです。

旅行事業 旅行業及びその付帯事業

ホテル事業 ホテルの所有及び運営

その他の事業 不動産業

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	74,264	2,843	3,787	2,126	83,021	—	83,021
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	47	3,672	3,326	496	7,542	△7,542	—
計	74,311	6,516	7,113	2,622	90,564	△7,542	83,021
営業利益	1,438	283	736	131	2,589	△819	1,770

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

(1) アメリカ……………米国、カナダ、メキシコ、パハマ、グアム、サイパン

(2) アジア・オセアニア……香港、韓国、シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシア、カンボジア、マカオ、インド、ベトナム、アラブ首長国連邦、オーストラリア、フィジー

(3) ヨーロッパ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)

	アメリカ	アジア・オセアニア	ヨーロッパ	計
海外売上高(百万円)	2,843	3,787	2,126	8,757
連結売上高(百万円)	—	—	—	83,021
連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	3.4	4.6	2.6	10.5

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

(1) アメリカ……………米国、カナダ、メキシコ、パハマ、グアム、サイパン

(2) アジア・オセアニア……香港、韓国、シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシア、カンボジア、マカオ、インド、ベトナム、アラブ首長国連邦、オーストラリア、フィジー

(3) ヨーロッパ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	85,396
II 売上原価	72,682
売上総利益	12,714
III 販売費及び一般管理費	11,553
営業利益	1,160
IV 営業外収益	315
V 営業外費用	16
経常利益	1,459
VI 特別利益	42
VII 特別損失	19
税金等調整前四半期純利益	1,482
法人税、住民税及び事業税	518
少数株主利益	27
四半期純利益	936

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

	前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,482
減価償却費	324
のれん償却額	10
貸倒引当金の増加額	1
賞与引当金の減少額	△748
役員賞与引当金の減少額	△18
退職給付引当金の増加額	28
役員退職慰労引当金の増加額	6
積立付与引当金の増加額	1
受取利息及び受取配当金	△193
持分法による投資利益	△82
為替差損	67
支払利息	2
組合投資損失	4
投資有価証券売却益	△23
投資有価証券売却損	0
有形固定資産売却益	△0
有形固定資産売却損	1
有形固定資産除却損	0
その他損失	1
売上債権の減少額	3,411
旅行前払金の減少額	510
その他資産の増加額	△202
仕入債務の増加額	1,186
未払消費税等の減少額	△65
未払費用の増加額	46
旅行前受金の増加額	1,063
その他負債の増加額	602
小計	7,420
利息及び配当金の受取額	215
利息の支払額	△2
法人税等の支払額	△1,001
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,632

	前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△697
定期預金の解約による収入	469
有価証券の取得による支出	△179
有価証券の売却による収入	101
有価証券の償還による収入	74
有形・無形固定資産の取得による支出	△259
有形・無形固定資産の売却による収入	2
投資有価証券の取得による支出	△802
少数株主からの株式取得による支出	△2
投資有価証券の売却による収入	50
投資有価証券の償還による収入	4
貸付による支出	△0
貸付金の回収による収入	38
保証金の差入による支出	△130
保証金の回収による収入	65
その他投資の増加額	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,268
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	20
短期借入金の返済による支出	△50
長期借入金の返済による支出	△2
配当金の支払額	△661
少数株主への配当金の支払額	△16
自己株式の取得による支出	△0
自己株式の処分による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△103
V 現金及び現金同等物の増加額	4,550
VI 現金及び現金同等物の期首残高	38,995
VII 連結子会社増加による現金及び現金同等物の期首残高	9
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	43,556

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

	旅行事業 (百万円)	ホテル事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	84,662	727	6	85,396	—	85,396
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20	—	20	△20	—
計	84,662	747	6	85,417	△20	85,396
営業費用	82,995	630	0	83,626	609	84,236
営業利益	1,667	117	6	1,790	△630	1,160

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	76,224	3,413	3,683	2,075	85,396	—	85,396
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5	3,557	3,170	863	7,597	△7,597	—
計	76,230	6,970	6,853	2,939	92,993	△7,597	85,396
営業費用	75,443	6,648	6,260	2,850	91,203	△6,966	84,236
営業利益	786	322	593	88	1,790	△630	1,160

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。